

2024年度
教学IRをきっかけとする教学改善の事例
学生調査の回収率の向上について

2024年9月15日
久留米工業大学IR推進センター

学生調査の回収率向上施策について

学生調査の回収率向上のため、4つの施策を行いました

コロナ禍においては、25%にまで下がってしまっていた学生調査の回収率向上のため、次の4つの施策を学科長会議等、各学科長が揃う会議にて提案を行いました。4つの施策が効果を発揮し、回収率が75%まで上がりました。

①IR推進センター課員が、学生全員に対して、実施を行うこと

各学科の各学年の全員の学生が集まる必修科目が始まる前か始まった後、IR推進センター課員が学生調査の実施を行う事を、各科目の教員に承認していただき、スケジュールを決めて学生調査を実施しました。

その際、IR推進センター課員が、実施の説明、回収などを行いました。

実施時間に終わらなかった場合、事務室に持ってきてもらうようにアナウンスを行いました。

②教員の協力体制を強化すること

ある学科において、後期に必修科目がないことが分かったので、ゼミ担当の複数教員に配り、実施をしてもらいました。

③謝礼プレゼントを用意し、学生に配ることを約束すること

「図書カード1,000円分」が50名に当選する謝礼プレゼントを用意しました。

④全員が集まる機会のない4年生への回収率を強化すること

4年生は、各学科共に、学年全員が集まる必修科目が存在しないため、卒研担当の教員にマークシートを配って、回答をチェックしてもらい、未回答の学生には回答を促してもらいました。（教職員共有フォルダに回答チェックリストを作成しました。）

回収率

2024年度の施策がきっかけとなり、回収率が75.5%まで改善した。

学生調査回収率

— 学生調査回収率



